

—— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
 - II 震災記録の保存事業
 - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
 - IV 被災障がい者自立支援促進事業

「いわきユニバーサルマルシェ」活動のご紹介

～障がい者就労支援施設の授産製品の安全確認と情報の発信～

「被災障がい者自立支援促進事業」では、従来地域生活を営んでいた障がい者の方が、再び自立した生活を送れる地域環境を再生するため、被災した障がい者就労支援施設の支援を行っております。学生が中心となって施設の現状を取材するとともに、授産製品の安全性確認を行い、ウェブサイト『いわきユニバーサルマルシェ』等を活用した情報の発信を行っております。今回は、その取り組みの詳細についてご紹介いたします。

▶ 障がい者就労支援施設の取材

いわき市内の障がい者就労支援施設に取材に行き、学生が施設のスタッフの方に、施設の特色や震災発生時からその後の対応のようす、授産製品に関することなどをインタビューします。授産製品を作っている現場を見学し、商品の特長やセールスポイント、作る上での注意点など具体的なお話を伺います。これまで約10か所の施設の取材を行いました。



障がい者就労支援施設取材のようす（ワークセンターしおさい）

▶ 授産製品の放射能検査

授産製品（約1kg）を持ち帰り、いわき地域復興センターに持ち込んで受付をします。授産製品は、環境放射線測定室にて放射能検査を実施し、報告書を発行します。



授産製品（一例）
なこそ授産所：しあわせみそ

▶ 取材レポートの作成

施設で取材した内容を、学生たちが相談のうえレポートにまとめます。作成したレポートは、担当教員がチェックしたのち、取材先担当者にご確認いただけます。



取材レポート作成のようす

▶ ウェブサイト「いわきユニバーサルマルシェ」掲載

商品の紹介（授産製品の詳細情報、放射能検査結果）、お店の情報（場所、購入方法）、学生のレポート（施設の方から伺ったお話をまとめた取材レポート、震災時のようす、商品の特長、学生の感想など）を、ウェブサイトに掲載します。



「いわきユニバーサルマルシェ」
URL <http://promotion.revive-iwaki.net/>



授産製品の詳細情報紹介（一例）
ふじみの園：クッキーとグリッシーニ



放射能測定結果報告書

▶ FM ラジオ・サイマルラジオ放送

ウェブサイトに掲載した取材内容は、おおよそ月に1回、右記ラジオ番組でも学生が情報発信を行っています。

Radio FM-IWAKI
いわきグローバル・マルシェ 76.2FM

毎週月曜日 18:14～18:24
SEA WAVE ラジビタリティ(evening内)

取材をした学生の声

取材を体験することで福祉の現場を見ることができ、生の声が聞くことができ、生のが聞こえることができて楽しいです。大学の勉強だけでは分からない、利用者さんと地域・職員・施設との関係性を知ることができました。いくつもの施設を取材することで、施設ごとに異なる環境を知ることができました。

これまでに取材した施設の情報、商品については、情報サイト「いわきユニバーサルマルシェ」に掲載しております。是非ご覧になってみてください。

「第3回いわき地域復興センターフォーラム」開催案内

当センターでは、平成24年度より毎年1回「いわき地域復興センターフォーラム」を開催してまいりました。このたび、以下の内容で、第3回フォーラムを開催することとなりましたのでご案内いたします。東日本大震災発生から3年半が経過し、時間とともに被災の記憶も次第に風化しつつあります。今回は、市内地元メディアが東日本大震災をどのように伝えたのかを知ることで、震災時におけるローカルメディアの可能性について議論できればと考えております。多くの方のご参加をお待ちしております。

【第3回いわき地域復興センターフォーラム】

日時：平成26年10月18日（土）13:00～15:45
 場所：いわき明星大学 AV 大講義室
 内容：講演1（いわき民報社）13:00～13:45
 講演2（FMいわき）13:45～14:15
 シンポジウム 14:30～15:30

震災資料（写真等）の展示会も実施！

時間：12:00～16:30
 場所：2-102 教室



<開催案内ポスター>

広島工業大学の教員・学生が見学に訪れました

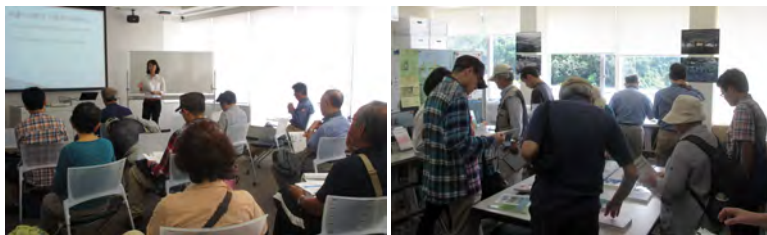
平成26年9月3日（水）に、広島工業大学環境学部地球環境学科 田中ゼミのみなさん（田中健路准教授、学生10名）が、自ら被災地に赴いて実際のようすを知るため、いわき明星大学の放射能問題に関する取り組みを見学に訪れました。始めに佐藤健二教授が放射線測定及び除染研究に関して展示パネルを用いて説明を行い、その後、環境放射線測定室内で測定室設置の経緯や測定機器の説明、放射能検査結果等について信田重成氏が話をしました。今回見学した学生は、原発事故に関して悪いニュースを聞くことが多かったが、実際に測定した数値やデータを見ることで放射能に対する知識が広がり、安心できたと話していました。



- ① 授業の一環として見学に訪れた広島工業大学田中ゼミのみなさん
- ② 放射線及び除染研究に関する説明のようす
- ③ 環境放射線測定室内での説明のようす

第27回ミニ相談会開催報告

9月10日（水）にいわき明星大学震災アーカイブ室を会場として、第27回ミニ相談会を開催しました。今回は、震災アーカイブの収集例やアーカイブ室としての活動内容について講師からお話いただいた後、これまでに収集した映像や写真、証言記録、書籍などの資料を実際に手に取って見ていただきました。参加者からは、震災アーカイブ収集の活動の在り方や要望など、多くの意見が出されました。



<ミニ相談会のようす>

次回ミニ相談会のご案内（第28回）

日時：10月23日（木）10:30～ 場所：いわき地域復興センター
 テーマ：「東日本大震災とボランティア活動
 ～震災の経験から、今後の防災活動の在り方について考える～」
 講師：いわき市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 草野 淳氏

文部科学省
 平成23年度大学等における
 地域復興のためのセンターの機能整備事業

いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8

Tel.0246-38-7132 Fax.0246-38-7134

URL <http://www.revive-uwaki.net/>

